

「耐火物における炭素の現状と今後」に関する講演会

耐火物産業においては、国内産の原料調達率は極めて低く、海外からの原料供給に依存せざるを得ない状況にあります。

本講演会では、国内調達が困難な原料のひとつで大部分を中国に依存している「黒鉛原料」を取り上げ、中国での黒鉛原料や耐火物の状況、我が国における炭素系耐火物の情報や今後の炭素原料の調達や使用方法のあり方など、炭素に関連した講演会を下記のとおり開催します。

ご関係の方々、多数のご参加がいただきたくご案内申し上げます。

なお、このお知らせは、平成23年4月計画していましたが、3月に発生した大震災の影響で延期していた講演会に関する事です。

主 催 岡山セラミックス技術振興財団

共 催 耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

- **日 時** : 平成24年3月22日(木) 9:35~17:10
- **会 場** : 岡山セラミックスセンター セミナー室
(備前市西片上1406番地の18)
- **参加募集定員** : 50名(定員に達しましたら締めきります)
- **参加費** : 主催・共催団体会員 5,000円、会員外 10,000円
(上記には、資料代、昼食代を含みます。参加費は、当日、受付で受領いたします。)
- **申し込み方法** : (1) 平成24年2月29日(水)までに申込書を、担当者までFAX或いはメールでご連絡ください。
(2) 万一、お申し込み後に欠席となった場合は、極力、代理の方の出席をご配慮ください。

(3) 担当者(申し込み先)

〒705-0021 備前市西片上1406-18

岡山セラミックス技術振興財団 溝田恭夫

TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227

E-mail mizota@optic.or.jp

○ プログラム

区分	時間	内容／講師
開会	9:35- 9:40	岡山セラミックス技術振興財団 専務理事 岡本章正
講演 1	9:40-10:30	炭素含有耐火物における炭素の(量比や形態の)在り方 九州耐火煉瓦株式会社 代表取締役社長 高長茂幸 MgO-C れんがの技術変遷を顧み、炭素に起因する評価の課題、炭素の役割について概説する。
講演 2	10:30-12:00	中国における黒鉛原料の現状と今後 洛陽耐火材料研究院 院長 李 紅霞 中国の耐火物研究の中核的機関である洛陽耐火材料研究院の李院長による、発展目覚しい中国における黒鉛原料の生産状況や今後の展望についての概説。(講演 中国語→日本語通訳有り)
休憩	12:00-13:00	昼食休憩
講演 3	13:00-14:30	中国における炭素系耐火物の現状と今後 洛陽耐火材料研究院 高級工程師 中国における炭素系耐火物の技術開発状況や生産状況などについての概説。(講演 中国語→日本語通訳有り)
講演 4	14:30-15:20	木材から造った炭の利用 高知工科大学 名誉教授 坂輪光弘 古紙や木質資源から造った炭を植物栽培床や環境資材として利用することを考えた。通常炭には植物などは生育しにくい古紙を混合することで、植物の生育に十分な気孔を有し、且つハンドリング強度もある炭を製造することができたので、この内容を概説する。
休憩	15:20-15:30	休憩
講演 5	15:30-16:20	使用後炭素含有耐火物の解析事例 岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 星山泰宏 実炉で使用された MgO-C れんがの解析事例を紹介し、現行材質における炭素の使用状況について概説する。
講演 6	15:20-17:10	炭素含有耐火物の酸化防止の在り方 岡山セラミックス技術振興財団 研究所所長 山口明良 耐火物成分として黒鉛の最大の欠点は酸化されることである。耐火物における黒鉛を有効に活用するには、この酸化を効率よく阻止することである。この防止方法について概説する。
閉会	17:10	閉会

(2月29日(水)締切 FAX 0869-63-0227 事務局 溝田行)

「耐火物における炭素の現状と今後」に関する講演会 参加申込書

平成23年 月 日

会社名 :

申込者 :

連絡電話 () -

案内のあった講演会に次のとおり参加を申し込みます。

No	参加者名	所属/役職	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			